



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の名言 1
- 今月の視点
- 今月のコピペ
- 今月のドヤ顔雑学
- 今月の名言 2
- 今月の注目記事



<http://zoesangels.org/>

Go オーストラリアグルー
プは、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。

Go Australia
Visa Consultant

Go Australia Concierge

Go Australia
Business Solutions

Conveyancing Home
QLD

Shimizu Kokusai
Law Office



今月のジョーク 其の壱 (ジョーク集より)

床屋

先日、床屋でヒゲを剃ってもらっていたら、熱いタオルを顔に掛けられたので、「熱いじゃないか」と文句を言ったら、床屋は、「すいませぬ。熱くて持てなかつたものですから」と答えた。



今月の名言 其の壱

Love is doing small things with great love. (愛とは、大きな愛をもって小さなことをすることです。)

Mother Teresa

マザーテレサ (1910~1997)

カトリック教会修道女、ノーベル平和賞
受賞 (名言集より)

今月の視点 - 選挙の戦況

ようやく、平常を取り戻してきたオーストラリアの3月と思いきや、今年はいつもとより若干早いイースターで、またもやどこか落ち着かない月となりました。そんな中で、ますます落ち着けない状況を生み出したのが、3月19日に行われた地方議会の選挙でした。QLD州の各地の結果を見る限りでは、「変化よりも安定を求める」という結果になったところでしょうか。そんなこんなで今月の視点です。

1. 選挙運動

オーストラリアの選挙運動は、比較的静かな戦いを展開します。その大きな理由は日本の選挙では付き物の選挙運動の街宣車と街角で繰り広げられる選挙演説が繰り広げられないからです。日本ではうっとおしさを感じるのですが、逆にないと多少の盛り下がりを感じます。選挙運動期間中は、致るところで候補者やその応援者が道端で通り過ぎていく車に向かって元気に手を振る姿が見受けられるだけです。静かな選挙戦ですが、インターネットやメディアを使った選挙戦はかなり激しいものがあります。目玉政策を有権者にいかに売り込むか、大きな声が頼りの日本の選挙戦とは異なる戦いが繰り広げられたオーストラリアでした。

2. 選挙結果

前述したように、選挙結果を一言でまとめると「変化より安定」であったように思われます。主だった都市、ブリスベン、ゴールドコースト、イブスウィッチ、サンシャインコーストといった市ではことごとく現役市長が再選を果たす結果となりました。ひょっとしたら、それ以上に重要な結果と思われるのが、同時に行われたレファレンダムです。今回の選挙においては、レファレンダムで、現在の地方議会の任期3年を4年間に延長するかどうかという住民投票も行われました。その結果、その延長に賛成という声が過半数を越えるという結果になりました。絶えず変化が求められる現代社会において、「安定」を求める声为上回った、今回の選挙結果は右肩上がりを「良し」としてきたオーストラリアという国が少しずつ成熟してきていることを示すのかもしれない。

3. 米大統領選

海の向こうのアメリカでも、大統領選が盛り上がっています。特に大半の予想を裏切ったかたちでのトランプ候補の健闘がオーストラリアでも日々話題になっています。日本でも、トランプ氏の発言に関していろいろな場を取り上げられているようですが、とんでもないことを言っているようで、その実はかなり計算をしているトランプ氏が他の候補者を人気で上回っていることでしょうか。それと同時にアメリカ人の本音がトランプ氏の発言に見受けられるということが、同氏の人気をここまで支えているのではないかとも思われます。オーストラリアでも、一昔前にポーリン・ハンセン女史がOne Partyという政党を立ち上げ、かつての白豪主義のオーストラリアに戻せとばかりに、徹底したオーストラリアナショナリズムにて人気を博したことがありました。政治的に本当は言えないけど、オーストラリア人の本音を垣間見たのが、ハンセン女史の活躍でした。多民族多文化国家を強調するオーストラリアにおいて、そうした政治的ポジションは残念ながら長続きするものではありません。今回のトランプ氏も、一時的な盛り上がりで終わる可能性が強いと思われそうですが、その一時的な盛り上がりが大統領選に重なるようであれば、正に予期しないことが起こるという可能性もあります。それが日本にとって、そしてオーストラリアにとっても吉と出るか凶とでるか、ますます目が離せない状況となりました。

今月のコピペ

この話は実話で、私はこの話を読むたびに、「価値観」や「解釈」は人によって違うことを深く感じます。その子は、生まれながら知恵おくれでした。

幼稚園は、近所の子供たちと一緒に通っていましたが、小学校に上がると、ちよくちよく学校を休むようになり、一年生が終わる頃には、全く学校へ行かなくなってしまったそうです。二年生になっても、三年生になっても、その子は学校に行こうとはしませんでした。そして、四年生に上がる頃、父親と母親が話し合っ、養護学校に預ける事にしました。養護学校には、寮みたいなものがある、勿論、家に帰る事はできませんでした。

四年生で入ったその子は、一年生の学習から始めなければなりません。専門の先生が、主要教科を一对一で丁寧に教えていきました。その日習った新しい事を、毎日毎日、その子は母親に電話で報告していました。ほんの少しずつではありましたが、一年間でその子は、たくさんの事を学び、覚えていきました。

その子をずーっと教えていた先生が、ある日、算数を教えようとしてお金の問題を出しました。「ここに、五百円玉、百円玉、十円玉、三つのお金があります。どのお金が一番大きなお金ですか？」と、その子に質問しました。

「十円玉」と、答えるのだそうです。

先生は、「五百円なのよ」と、教えました。同じ問題を繰り返すと、どうしてもその子は、「十円玉」と、答えてしまうのです。

何度も、何度も、やはり答えは、十円玉だったので、先生は、「五百円玉と、百円玉と、十円玉では、五百円玉が一番たくさんものを買えるのよ。だから、一番大きいのは五百円玉でしょ？」と、言うのですが、その子が、どうしても違う、十円玉だと言うので、先生は、「それじゃ、十円玉のほうが大きいと思う訳を言ってごらん」と、言ったそうです。

すると、その子は、「十円玉は、電話が出来るお金。電話をすればお母さんの声が聞けるの！」と話したそうです。

今月のドヤ顔雑学

(雑学集より)

其の壱 — “東日本”と“西日本”で周波数が違うワケ

1895年、東京に東京電燈(現在の東京電力)、大阪に大阪電燈(現在の関西電力)が誕生した際に、東京電燈はドイツ製の発電機を導入し、大阪電燈はアメリカ製の発電機を導入しました。ところがドイツ製の発電機の周波数は50ヘルツ、アメリカ製の発電機の周波数は60ヘルツでその違いが今に至っているというわけです。変えない理由は、単に「コストがかかるから」。

其の貳 — 血液型でハゲが分かれる

血液型によって、ハゲ方が違う。

A型 部分的にハゲる。耳の周りやえりあしは抜けにくい。

B型 少し毛が残り、てっぺんに数本だけ残る傾向。

O型 1本も残らず、完全につるつるになりやすい。

AB型 1番ハゲにくい。髪で心配する事は少ない。



今月の名言 其の貳

人は自分自身になりさえすればいいのだ。これが、わしの基本的なメッセージだよ。

自分があるがままに認めら瞬間、全ての重荷、山のように見えた重荷が、嘘のように消えてしまうのだ。

すると人生が喜びそのものになり、光のお祭りになるのだよ。

バグワン・シュリ・ラジニン (1931~1990)

インドの宗教家、神秘思想家

(名言集より)

今月の注目記事

其の壱

オーストラリア政府が発表した中国統計局による統計では、昔と比べて中国人留学生が就学後、中国へ帰国する割合が増えたということです。

2014年45万人の中国人が海外留学をしたそうですが、そのうち80%近くである35万人は就学後、中国に戻ったということです。2011年以前においては、半分以上の留学生はそのまま移住等で定住してしまい、中国に戻ることはなかったということです。この数年での変わりようは大変厳しいものがあります。

2013年の時点では、中国人の留学先として、オーストラリアはアメリカ、日本に次ぐ3番目の人気留学国であったこともあり、こうした中国人留学生の変化は、オーストラリア教育産業にもかなり影響を与えることとなると考えられます。

[The Financial Review より]

<http://www.afr.com/news/policy/education/chinese-students-more-likely-to-return-home-after-study-20160219-gmydu9>

其の貳

2016年7月1日から「バックパッカー税」が導入されることとなります。「バックパッカーズ」=「ワーキングホリデー」という認識のオーストラリアですが、ワーキングホリデービザで働く場合、これまで年収\$18000以下の収入であれば非課税となっていたのが、全ての収入に対して32.5%の所得税が課せられ、かつ、帰国によるスーパーアニュエーション積立金返還に対しても35%の税金が課せられることとなります。

[The Sydney Morning Herald より]

<http://www.smh.com.au/business/turnbull-government-revisiting-plans-for-unpopular-backpacker-tax-20160315-gnk25b.html>

Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com